

横浜環状南線 公田笠間トンネル工事 振動・騒音計測結果のお知らせ

【シールドマシン位置図（10月28日時点）】



【10月28日（月） 08:00～翌05:00 振動・騒音計測結果】

	A（南側）			B（直上）			C（北側）		
	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)
振動レベル L <sub>10</sub> (dB)	28	30	30	26	26	25	24	25	23
騒音レベル L <sub>A5</sub> (dB)	56	59	44	55	56	46	54	58	43
低周波レベル L <sub>50</sub> (dB)				68	67	59			
低周波レベル L <sub>G5</sub> (dB)				69	70	68			

\* 振動レベル、騒音レベル、低周波レベルの測定はシールドマシン通過時にその直上付近で実施しています  
 計測点はシールドマシン中心および影響範囲端部を基本とし、事業用地や公道などの計測可能な点で実施しています  
 \* 上表は、特異値（例：大型車両通過に伴う振動、緊急車両サイレンなど）を除外した数値を示しています

【振動レベル L<sub>10</sub>】 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 10%目の値を L<sub>10</sub>と表します  
 【騒音レベル L<sub>A5</sub>】 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 5%目の値を L<sub>A5</sub>と表します  
 【低周波レベル L<sub>50</sub>】 1～80Hz の周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の中央値を L<sub>50</sub>と表します  
 【低周波レベル L<sub>G5</sub>】 1～20Hz の周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 5%目の値を L<sub>G5</sub>と表します